

活動状況報告（4月）

学生留学コース 5期生 酒井 友希

4月にはオーガニックな羊農場への訪問の機会がありました。日本からの留学生と一緒に行きました。この農場は観光ファームステイとしては運営されていませんが、フィンランドでは羊農場が観光農園として営まれているところもあるようです。今回はお手伝いを兼ねて、スウェーデンに隣接する農場で約3日間を過ごしました。4月2日にはフィンランドで選挙が行われており、農場主はその町の緑の党の候補者でもありました。オーガニックな方法で羊を育てているとのことで、何がオーガニックなのか尋ねたところ、飼料にオーガニックなものを使用しているとのことでした。また、滞在先の家ではセントラルヒーティングとして木材を使っており、エコな暖房方法でした。お手洗いは水を使わないバイオトイレを使用しており、環境に配慮されていました。フィンランドでは夏になると多くの家族がサマーコテージで休暇を過ごすことが一般的です。湖畔や川沿いには電気や水道がないコテージも多く存在します。そのため、バイオトイレはフィンランド人にとって一般的な設備として普及しているように思われます。

また、文化と観光の授業では、フィンランド人のクラスメートと一緒に街歩きをしながら、観光業界に与える影響について考えました。特に興味深かったのは、犬の糞を拾うための袋が無料で配布されている箱が道沿いに設置されていることでした。さらに、地元の人々も観光客も楽しめるように、ソリ遊びの方法や注意事項が示されていることもありました。

4月下旬には、Levi というスキー場でハイキングをした後、スキー場の丘の上にあるサーミ民族の博物館も訪れました。Levi はスキーの世界大会も開催されており、サステイナブルな運営にも力を入れているスキー場です。フィンランド、ドイツ、ポーランド、トルクメニスタン、ウクライナの友人たちと一緒に行きました。まだ雪が残っていたスキー場でのハイキングは、思った以上に硬い雪で歩きやすかったです。スキー場ではLEDの照明が使用されており、ゴミ箱も分類されて多く設置されているようです。目印となる「サンタクロースの幼少期の家」を目指して歩きました。この家はフィンランドで有名なクリスマス映画の舞台となった場所であり、ゴミ箱も分別されていることがわかりました。フィンランド人の友達以外のみなはこの映画を知りませんでした。フィンランド人の友達は喜んでいました。サーミ民族の博物館は、比較的小さなスキー場のコースの上に位置し、ホテルの中にもありました。展示ではサーミ民族の伝統や写真が紹介され、サーミ民族の方々が伝統的なドラムを使って歌を披露してくださいました。披露したのはAnte Aikioさんで「Arvi」という曲を歌っていました。披露後、まさかの「Spotifyでも曲をリリースしていますので、ぜひ聴いてみてください」とアナウンスで音楽配信もしていて驚きました。興味がある方はぜひ調べて聴いてみてください。他の曲はポップで現代的なものや伝統的な音が混ざったものが多いです。ただ、Anteさんは年配や信仰深い人の中にもサーミのドラムを演奏できると人は限られていると考える人もおり、サーミ民族内でも考え方や価値観が異なることを話していました。

また、博物館の横にはスキー場の丘の上でトナカイを飼育しており、私たちもトナカイの餌やりを楽しみました。スキー場でのハイキングトレイルや博物館など、年間を通して楽しめる施設が隣接しており、冬以外にも訪れたいと思わせる工夫がされていました。また、ラップランドではサーミ民族の方々も多く暮らしているため、文化や民族に対する理解を深めることがサステイナブルツーリズムの一環として重要であることを実感しました。

ついに留学、最後の1ヶ月となりましたが、悔いのないように過ごしたいです！



街歩きの際の発見したスノーモバイルの道



イースターのカラフルな卵の装飾





